

佐藤 仁志 議員

無会派



市長の説明を待ってほしいのでは

答 広報やとみ7月号で周知

○駅整備について以下を問う。

問 前提条件、達成すべき状態、事業効果が数量的に明確であること、他都市の状況、他の方策が比較検討されたか、説明が不十分では。

答 (市長) 駅前再開発プロジェクトチームで総合的な駅前整備を検討し、自由通路単独整備も検討。また、当事業の立案及び進捗過程は適正である。

問 市長が考えるにぎわいとは。

答 自由通路整備事業だけでは、効果的な賑わい創出できない。弥富駅周辺のまちづくりも併せて推進していく必要がある。

問 人口増加は、駅だけでは効果がないのでは。

答 駅から徒歩圏内である駅周辺地区及び車新田地区で、新たな住宅用地の供給や商業機能の充実を図る。

問 施工方法と単価の検証ができない。JRの言いなりで進めるしかないのか。

答 各鉄道事業者に確認し、公共事業としての事業の透明性を図る。

問 市民が理解できるように説明がされていない。市民は市長の言葉を待っているのでは。

答 広報やとみ7月号で、市民に周知。時期が来れば市民に説明。

問 行政の責任者としての課題認識は

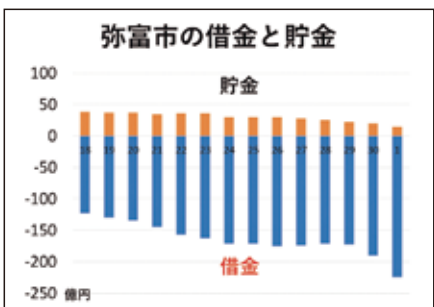
答 政策課題に対応する組織運営を

問 行政サービスを維持向上させるためには職員の働きが重要。激しい異動が業務の継続性に支障をきたしているのでは。

答 (市長) 個々の業務に配慮した弾力的な人事管理を実施し、業務執行体制の確保に努める。

問 町村合併後に国の支援を最優先に箱物を増やし、駅の自由通路橋上化を進めようとしている。貯金を減らし、借金を増やした理由

答 弥富市の平成18(令和元)年度決算からグラフ化



と、投資的事業のコントロールは。
答 基金や交付税措置のある起債を積極的に活用してきたため。今後は、財政基盤を確立させ、本市のさらなる発展に向け、各種施策を推進していく。



▲国立社会保障・人口問題研究所日本の地域別将来推計人口(平成30(2018)年推計)からグラフ化

問 市長は災害対策本部長として市の最高責任者。駅自由通路が優先され、防災が最優先になっていない。市長の認識と決意は。

答 少子高齢化が進展し、税収の減収が想定されるため、市の将来像に反映する必要がある。

また、歳出削減も必要。防災対策は、各種事業を引き続き進め、さらなる資質向上に努める。